

# 新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ

問い合わせ 新型コロナウイルスワクチン接種推進室  
コールセンター ☎0120-5671350

## 1・2回目接種の実施体制が変わります

- 新型コロナウイルスは、11月上旬までに接種対象者の8割を超える人が1回目の接種を終える見込みです。
- 集団接種は、**現在、11月実施分を受け付け中です。**なお、11月14日実施分までで、1回目の接種を一旦休止します。
- 1・2回目の接種を終わっていない人や今後12歳を迎える人で、ワクチン接種を希望される方は、令和4年2月末までに、2回目接種が終了するよう医療機関での個別接種をご利用ください。
- ワクチンの接種には本人の同意が必要です。強制されるものではありません。
- 接種費用は無料です。

## ワクチン接種（1・2回目）を 継続する医療機関

### ファイザー社製ワクチン使用

- 市内12か所の医療機関で接種を実施します。
- 実施する医療機関や実施時期など、詳しくは市ホームページをご覧ください。
- **接種の予約は、市ホームページとコールセンターで受け付けます。**

### インターネット(24時間対応)

接種券(クーポン券)記載の券番号など必要事項を入力し、申込希望日と会場を選択してください。



ワクチン接種の申し込み

### コールセンター

☎0120-567-350(通話料無料)

受付時間: 月~土曜日(11/20、12/29~1/3、  
祝日を除く) 午前9時~午後6時



医療機関への直接のお問い合わせは、お控えください。

※3回目接種の詳細は、未定です。決まり次第、お知らせします。



2021

新型コロナウイルスへの  
対応から考えさせられること

市長 伊藤 太

この8月の春日井市のコロナの感染者数は1289人でした。特に若い世代への感染が顕著で、29歳以下の若者が半数を占め、小学生や中学生、さらには未就学児まで感染が広がっていました。また、ワクチンを接種した高齢者も家庭内で感染するという傾向がありました。

このころ、ウイルスが変異したデルタ株の脅威です。しかし、9月下旬になって急激に減少に転じました。全国的にも同じような現象です。

専門家の皆さんの見解も様々ですが、若者も感染し重症化する危険性があることや、これにより医療が危機的な状況になっていることなど、危機感が共有されたこと、加えてワクチンの接種が進んだことなどが挙げられています。

感染症との闘いは古代よりありました。ペストやコレラ、最近では新型コロナウイルスやSARS(サーズ)などです。今回も第1

波から第5波までの2年近くに及ぶこの経験を、国も地方自治体も、そして私たちも生かす必要があります。

自治体は、保健所機能の充実、検査やワクチンの接種体制、入院、自宅待機を問わず感染者への対応などがあります。特に国は、組織や専門家の英知を結集し、行動指針にしても、検査やワクチンの信頼性など全てにおいて、的確な情報をタイムリーに出すことです。そして、治療薬の開発と実用化が待たれるところです。

コロナへの対応から、地方分権の実質的な推進、縦割り行政の打破など、言われて久しい国の在り方を改めて考えさせられています。来ると言われている第6波に備え、さらにその先の終息に向けて、誰もが出来ることは「うつつさない」「うつつされない」行動をすることです。